

(様式2)

令和5年5月12日

女性の就農環境改善計画

(令和5年度女性の就農環境改善支援事業)

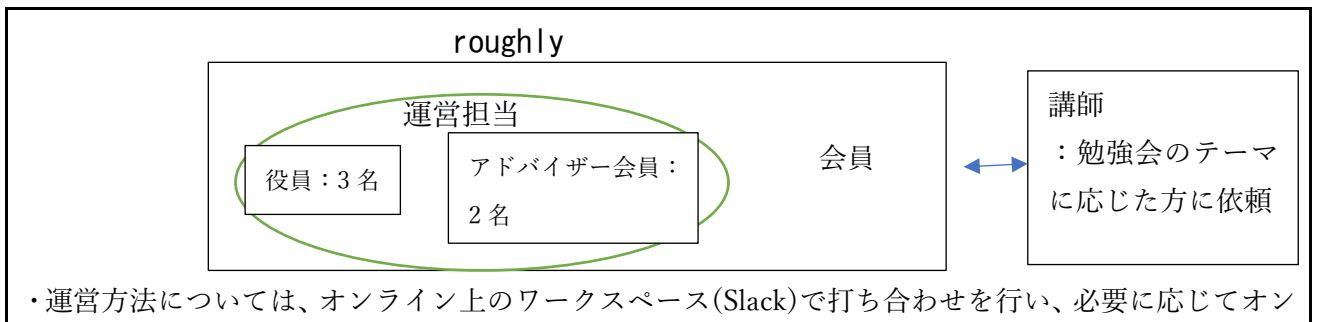
実施するメニュー (該当に○)	第4の(1) (施設等確保の取組)	
	第4の(2) (グループの新たな取組)	○

1 地域取組主体の概要

名称	Roughly	
所在地	長野県長野市若穂川田2252	
代表者	宮沢みえ	
主な組織の事業内容(注)	【事業内容】 農業者を繋ぐコミュニティ運営 ① 定期的なポッドキャスト等による音声配信 ・月1回配信 ・農業者へのインタビュー中心 ② 勉強会開催 ・農業経営 ・コミュニケーション ・販路拡大 ・就農環境 ・事業継について 等 ③ 交流会開催 ・オンライン ・オフライン ④ 活動内容の情報発信 ・HP ・Instagram ・Facebook 【会員数】 98名 (内女性68名) 2022年12月時点	女性農業者の 人数：68名

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



ライン会議(ZOOM)を使用する。

・勉強会の講師や講演内容は、会員の意向をアンケート等で確認し、最終決定は運営担当が行う。
音声配信は、Spotify で Podcast として 1 回 1 時間程度、1 人の農業者に対するインタビューを配信。
運営担当 5 名が順番にインタビュアーを担当し、インタビューの内容をまとめた編集後記を HP 上に
番組のアーカイブリンクと共に掲載する。

交流会は、運営担当が企画し、HP や会員への DM にて参加者を募集する。

新規メンバー獲得は、音声配信での告知、SNS(インスタグラム、フェイスブック)での告知、マルシェ
にてチラシ配布を行う。

運営担当は、役員 3 名とアドバイザー会員 2 名。

(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】

全国的に農業委員、農業士、JA役員等における女性比率・出席率が男性を大きく下回る
ため、農業の現場に女性の意見が反映されにくい環境にある。

女性が農場と家庭の外に出て活動することへの家族の理解を得て、心理的ハードルを下
げることで女性が対外的活動を行うことがデフォルトとなり、その先の責任ある立場で
の女性比率を底上げしていく。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

女性が対外的活動することは、女性の心理的ハードルも高いが、それは不在の歳の家事
等の負担が男性よりも女性の方が大きいことも理由の一つである。

女性の対外的活動に参加する事例を増やし、グッドプラクティスやノウハウを共有する
ことで、それが特別なことではないという女性の意識を変えたとともに、社会的認識も
変えていくことが必要。

(注) (2)、(3) の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の 確保にかかる計画（実績）

確保する施設 等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他					
区分番号	時期	確保場所	数量	利用する	事業費	備考

(注1)				女性農業者(注2)の人数	(千円)	国庫補助金	
			計				

(注1) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

(注2) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（3）において同じ。

(注3) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

(3) 女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

取組区分	①商品等開発 ②先進地視察 ③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組 ④研修会 ⑤マルシェ開催に向けた取組 ⑥その他						
区分番号 (注1)	時期	内容	実施回数	参加する 女性農業者 の人数	事業費(千 円)	国庫補助 金	備考
③	7月～ 2月	Podcastでの音声配信 農業者インタビュー「roughly とラフに話そう」 ※月1回10日に配信	8	8	配送費 8 備品費 5	7 5	
④	7月～ 1月	オンライン勉強会	3	各20名	謝礼 165	150	
③④	9/29	全国会員交流会	1	30名	運営旅費 245	111	

					委託費		
					150		136
					会議費		
					70		70
					印刷製本費		
					2		2
					会場費 21		19
				計	647		500

(注1) 「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

(注2) 必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

【事業成果及び今後の展開】

※第4の(2)「グループの新たな取組」のみ記載

※区分番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品づくりに関しては、翌年度以降の販売事業計画も併せてご記入ください。

区分番号	事業成果、今後の展開
③④	Podcast のインタビュー対象を会員中心に絞り、会員同士の認知と接触機会を増やす。 オンライン勉強会では、受け身ではなく、参加型の勉強会を開催。会員同士の繋がりを深める。 オフラインでの交流会開催では、コミュニケーションのワークショップを取り入れ継続的に深い交流が出来る関係性を築く

4 本事業を活用した取組計画 (注)

時期	取組内容・回数	備考
----	---------	----

	<p>【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】</p> <p>■Podcastなどによる音声配信を定期的に行うことで、身近で参加しやすいコミュニティづくりを実践している。</p> <p>音声配信は会員以外のどなたでも視聴可能なため、農業に関心のある方にとってもリアルな農業現場を知る機会を届けられていると実感している。</p> <p>■昨年度実施した勉強会の目的は「移動困難な状況下でも学びの機会を提供する」であった。</p> <p>本年度は「勉強会をきっかけに繋がりをつくる」ことを目的とする。勉強会は会員同士が認識しあえる運営を行い、今年度実施する交流会で繋がりを深める。また、この交流会は全国規模であるため、様々な地域との比較により俯瞰的な視点で農業や地域について考えるきっかけとなる。</p> <p>【本事業を活用した取組の実施方針】</p> <p>全国の女性農業者をつなぎ、性別・地域・他業界と区別なく自ら考え選択できる農業界をつくるために、積極的に女性が対外的に活躍する機会を増やし意識の変革を促す。</p> <p>【具体的に実施する取組内容】</p> <p>① 定期的なポッドキャスト等による音声配信 ・月1回配信 ・農業者へのインタビュー中心</p> <p>② 勉強会開催 ・農業経営 ・コミュニケーション ・販路拡大 ・就農環境 ・事業継承について 等</p> <p>③ 交流会開催 ・オンライン ・オフライン</p> <p>④ 活動内容の情報発信 ・HP ・Instagram ・Facebook</p>	<p>【目標】</p> <p>・音声配信：1200回再生</p> <p>・交流会参加者：30名</p> <p>・オンライン勉強会参加者：累計100名</p>
--	--	--

(注) 3の取組を踏まえ、5の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	30人
	事業実施翌年度	20人
	合計	50人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）		
自営農業就業者 40人、雇用就農者 5人、 アルバイト等 5人		

（注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

<p>上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画 （第4の（1）「施設等確保の取組」のみ記載）</p>
<p>【事業実施年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数）</p>
<p>【事業実施翌年度】 （取組予定業務） （採用時期） （人数）</p>

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。